

指定管理者の期末モニタリング

施設名	宮代町総合運動公園	年度	令和6年度
指定管理者	ミズノグループ	担当課	教育推進課
指定期間	令和5年4月1日～令和15年3月31日	期別	第4期
施設の目的	スポーツやレクリエーション活動を通じた交流や健康づくりを促進し、活力ある地域社会づくりに寄与すること、それに関連した市民ニーズを幅広く捉え、利用者の裾野を広げる事業展開を実施することを目的に設置する。		
業務の内容	(1)施設の運営に関すること。 (2)施設、設備及び物品の維持管理に関すること。 (3)施設の貸出及び制限に関すること。 (4)施設の利用料金の収入に関すること。 (5)施設の設置目的にあった自主事業の実施に関すること。		

総合的な評価	
【総合評価】	A優良0 B適正 14 C改善0
・利用者サービスの低下を招くことのないように、前年度に引き続き月曜日が祝日の場合の月曜日開館等積極的に利用日の拡大を進めている。また、開設後30年が経過し、施設の老朽化が進む中で、適宜、迅速な修繕を実施している。 ・大会や町民スポーツフェスティバルにおいて、障がい者スポーツの種目を設け、理解促進と普及啓発に取り組んでいる。 ・公共施設予約システムの本格稼働にあたり、事前にシステム運用の社員教育を実施し、利用者への適切な対応を行っている。 ・利用者を第一に考え、施設利用情報の適切な発信や利用者のニーズに耳を傾け、真摯に対応している。	
【評価事項】	・町民スポーツフェスティバルへの参加協力として、スラックラインやブラインドサッカーなどの幼児や障がいがある方も体験できるスポーツ種目を設けるほか、トップアスリートからの指導を受けられる「ピクトリークリニック」として、オリンピックによる指導の場を用意し、町民のスポーツに親しむ機会に大きく寄与している。 ・近隣市町で開設されたスイミング施設による影響を受け、水泳教室においては、大人及びキッズとも受講者数が減少したものの、会員紹介キャンペーンなどにより利用促進に努めている。 ・自主事業の実施にあたり、独自の管理システムを導入し、教室申込、出欠連絡等の管理を行うことで、利用者サービスの向上を図っている。 ・自主事業においては、水泳教室やテニス、バスケットボールをはじめとして、これまでに実績のあるスクールを展開するほか、新たに「個人参加型プログラム」として、元Vリーガーを講師にした親子でのバレーボールスクールを始めるなど、多種にわたる競技を学べる機会を設けている。
【改善事項】	・施設の老朽化が進む中で、業務要求水準書等に基づき、今後も引き続き、利用者サービスの低下にならないように便利、安全な施設運営を継続してほしい。

1. 施設の管理運営・事業	評価	B 適正
令和6年度は、利用者数が令和元年度以来5年ぶりに20万人を超え、自主事業においても前年度を上回る受講者数となったことは評価できる。 また、施設の老朽化への対応として、修繕等にも迅速に取り組んでいる。 市民サービスでは、継続して月曜日が祝日の場合の月曜日開館など、利用者目線に立った管理運営を行っている。		
■利用料金収入 令和6年度目標 26,941,700円 令和6年度実績 25,547,710円 ※目標値の94.8%、前年比 139,580円増 令和5年度実績 25,408,130円		
■利用人数 令和6年度目標 208,000人 令和6年度実績 204,624人 ※目標値の98.4%、前年比 10,544人増 令和5年度実績 194,080人		

2. 利用者の公平確保	評価	B 適正
適正に施設の貸し出しを行い、公平性を確保している。 また、熱中症警戒アラート時の振替対応等、利用者の安全確保のために柔軟に対応している。		
3. 職員の配置、研修等	評価	B 適正
トレーニング室やプール監視員には有資格者を配置し、業務要求水準書及び事業計画書に基づき、適正に人員を配置している。		
4. 施設の維持管理業務(清掃、植栽管理など)及び保守点検	評価	B 適正
清掃、設備の保守点検など施設の維持管理業務は、業務要求水準書及び事業計画書に基づき、適正に実施されている。		
5. 施設の修繕	評価	B 適正
施設の経年劣化等により複数箇所の修繕が必要となる中、利用者サービスの低下に繋がらないように緊急度や規模により優先順位を判断した上で、順位の高いものから修繕を実施している。		
6. 備品管理	評価	B 適正
台帳を整備し、適正に管理を行っている。		
7. 安全・危機管理	評価	B 適正
危機管理マニュアルを作成し、有事に備えるとともに、管理責任者及び防火責任者を配置することで安全・危機管理に努めている。		
8. 個人情報の管理	評価	B 適正
申請書をはじめとする個人情報に関する資料は施錠できる倉庫に保管するなど適正に管理をしている。		
9. 利用者ニーズの把握・反映	評価	B 適正
お客様の声ボックスを設置し、利用者からの意見や要望を聞き、その回答を掲示することで、利用者への周知を行うとともに、施設管理、運営に取り入れるよう努めている。		
10. 自主事業の実施	評価	B 適正
指定管理者のノウハウを活かした各種スポーツ教室や健康体操教室など幅広い世代に対する事業を展開し、施設を効果的に活用していた。障がい者スポーツの分野においては、前年度に引き続いてユニバーサルボッチャ大会を開催し、理解促進と普及啓発に取り組んでいる。 また、町民スポーツフェスティバルの実施に際しては、幼児から体験できるスラックラインなど多種にわたるスポーツ種目を取り入れたほか、トップアスリートからの実技指導が受けられる「ビクトリークリニック」においては、オリンピックを講師に招いて競技の知識や技能の向上を図り、今後の活動の良いきっかけとなったことは、高く評価できる。		
11. 経費節減	評価	B 適正
光熱費が高騰する中、冬場を中心にプールカバーを施し、閉所後の水温低下を防ぐ努力をしている。一方、電気使用料に関しては、ミズノグループとして他施設と合わせて電力会社を変更したものの、思うような効果が現れていなかったため、今後も研究が必要となる。		
12. 環境への配慮	評価	B 適正
枝や裁断した幹等は人工芝の下に敷き、いずれ土に還るようにすることにより、廃棄物の削減に努めている。		
13. 利用者への情報提供	評価	B 適正
イベント実施の際は、指定管理者ホームページだけではなく町広報紙等も使い効果的な情報発信を行っている。施設が修繕等で使えないときも、早めの周知を心掛けて実施している。		
14. 会計管理	評価	B 適正
電算処理を行い、収支計画に基づいて適切に会計処理を行っている。		